



あかね雲

第11号
令和8年2月27日
発行責任者 鈴木 智喜



【令和7年度 学校スローガン】

Keep going・生きる～一生懸命はかっこいい～

敬愛の心があつく心情豊かな生徒 よく考え主体的に行動できる生徒 体力・気力の充実した健康な生徒

一年の締めくくり、次なるステージへ

澄み渡る朝、本校4階から仰ぎ見る日光連山は、息をのむほどの美しさです。雪に覆われ、幾重にも重なる山々が見事な景観を創り出し、その雄姿に目を奪われます。いよいよ3月を迎え、花壇のピオラやパンジーが色づき始めるなど、季節は確実に歩みを進めています。



さて、春の訪れとともに、学校は卒業と年度末の時期を迎えました。この時期は一年の中で最も月日の流れを早く感じ、慌ただしく過ぎてしまいがちですが、学校生活の一年間を締めくくる大切な節目でもあります。現在、子供たちは学習や生活のまとめに取り組み、進級・進学への準備を進めています。

特に3月は「別れ」と「旅立ち」の月です。卒業式や離任式という、大切な人たちとの別れの儀式を控えています。3年生には、これまでの歩みの結晶である「今」を確かめ、自らの成長を実感しながら、4月からの新たなステージへ自信と決意を持って踏み出してほしいと願っています。また、1・2年生にとっても、次なるステップへの節目の月となります。この一年でどれだけ成長できたかを振り返り、新たな目標を胸に、意欲を持って進級することを期待しています。

志を胸に、銀世界へ ～記念行事スキー教室～

1月23日（金）に立志式を行いました。代表生徒の誓いの言葉や、スライドショー「一人ひとりの誓い」を通し、大人への自覚を深める姿が見られました。最後に合唱した『手紙』の歌声は、生徒たちの決意を表すかのように、会場に温かく響き渡りました。



この決意を胸に、1月30日（金）には記念行事として「スキー教室（ハンターマウンテン塩原）」を実施しました。雄大な自然の中での雪上活動を通し、自己を見つめ直すとともに、仲間との絆を深める貴重な機会となりました。この二つの行事での経験を糧に、中学校生活のさらなる思い出を育み、将来への一歩を踏み出すことを期待しています。



見守り、支えられ、健やかに：感謝のメッセージ

PTA 執行部の皆様をはじめ、保護者・地域の皆様、日頃より子供たちを温かく見守り、多方面から支えてくださり誠にありがとうございます。



陽西中学校地域協議会

この一年を振り返りますと、体育祭や文化祭などの学校行事へのご協力、学習支援や読み聞かせボランティアなど、多大なるお力添えをいただきました。特に学校行事においては、安全確保のための巡回や立哨指導など、細やかなご配慮をいただき、深く感謝申し上げます。



家庭科ミシン実習の様子

先日行われた家庭科のミシン実習では、地域の方々が学習支援ボランティアとして授業にご参加いただき、豊かな学びの場を支えていただきました。また、保護者の方々による読み聞かせでは、事前の選書から当日のご準備まで多大なるご尽力をいただきました。朝の静かな教室に響く温かい声に、生徒たちは真剣な表情で聞き入り、物語の世界に引き込まれていました。本を通じて皆様と触れ合う時間は、生徒たちの感性を豊かにする貴重なひとときとなりました。心より御礼申し上げます。



読み聞かせの様子

伝統の継承～送る会で見せた1・2年生の成長～

生徒会主催で「3年生を送る会」を実施しました。今年度の送る会は、実行委員長の挨拶から始まり、創意工夫あふれる素晴らしい会となりました。1・2年生によるエールや歌声、思い出のスライドなど、心温まる企画の数々に胸が熱くなった方も多かったのではないのでしょうか。準備・運営に尽力した実行委員の皆さん、本当にありがとうございました。また、3年生代表のお礼の言葉も感謝の重みが伝わる見事な内容でした。



これから自らの道を歩む3年生。後輩たちの応援を背に、自分らしさを大切に次のステージで活躍することを期待しています。1・2年生は先輩から引き継いだ伝統を糧に、さらに活力ある陽西中学校を築いていってください。本日の会は、まさに学校スローガンである「Keep going・生きる～一生懸命はかっこいい～」を表現する、互いを思いやる心の通った時間となりました。



keep going・生きる ～三つのしんを意識して～

いよいよ県立高校受検の本番を迎えます。受検する3年生の皆さんの健闘を祈念して、激励の言葉を贈ります。次の「3つのしん」を意識して、入試に全力で臨んでください。

1つ目の「しん」は、『平常心』です。緊張や不安、焦りは、誰もが感じています。このような状況だからこそ、心を落ち着かせ、自分を見失わず、そして周りに影響されずに、3年間の成果を思う存分発揮してきてください。

2つ目の「しん」は、「自分を信じる」ことです。『自信』を持って、試験に臨んでください。「やれるだけのことはやってきたという自信。私は普段の力を十分発揮できる。絶対に発揮できる。」と、自分自身を鼓舞することです。余計なことで悩んだり迷ったりするよりも、自分自身で「パワーや力を与えること」を何度も繰り返すことが大切です。皆さんは、この3年間で心身ともに大きく成長しました。どんな状況でも今できることに全力で取り組んできました。これまでに蓄えた粘り強さを入試でも発揮してきてください。

3つ目の「しん」は、『慢心』です。『自信』を持つことはよいのですが、それが過信につながり、ちょっとした油断につながらないように注意しましょう。また、試験が終わると緊張から解放され、ほっと気が緩んでしまい、思いがけない事故やトラブルに巻き込まれてしまうことがあります。家に帰るまでが入試ですので、帰宅するまで油断することなく、緊張感を持ち続けてください。

それでは、3年生（受検生）の皆さん、3つのしん『平常心』と『自信』をしっかりもって、そして『慢心』に注意して、最善を尽くすことを願っています。



～卒業式に寄せる想い～(第77回卒業証書授与式まであと11日)

卒業式は、学校教育における最も尊い儀式的行事であり、私自身、毎年格別の思いでこの日を迎えます。義務教育という大きな節目を終え、新たなステージへと羽ばたく3年生の門出を、一生の記憶に残る厳粛な式として刻みたいと強く願っているからです。卒業式の主役は、もちろん卒業生である3年生の皆さんです。しかし、その姿を見守る在校生、これまで慈しみ育ててこられた保護者の皆様、そして共に歩んできた教職員もまた、卒業式から計り知れない感動と明日へのエネルギーを受け取ります。

凛々しく堂々とした立ち振る舞い、決意に満ちた真っすぐな眼差し、体育館に響き渡る渾身の返事、万感の思いを乗せた合唱。こうした一つひとつの姿が、見る者の心を揺さぶり、感謝の連鎖を生むのだと確信しています。中学校生活3年間の集大成となる最後の一日。卒業生を中心に、ご参列いただく来賓の皆様、保護者の皆様、そして在校生や教職員が心一つにし、感謝と新たな決意があふれる卒業式を創り上げたいと思います。

皆様のご協力と温かなご支援を心よりお願い申し上げます。

第77回卒業証書授与式のご案内

実施日	令和8年3月10日(火) 体育館
受付	9:00～9:40 保護者
卒業生	9:20までに登校
開式	10:00
閉式	11:40
下校	卒業式終了30分後程度